

# Feng-Shui Gallery

special edition vol.15

～風水デザインが空間にもたらす影響を、住空間のスペースごとに考える～

## 『壁面の使い方』



絵や写真を飾って壁面に表情をつけることで、空間に動きが出ます。  
動きのある空間には、良い氣が流れます。

今回は、絵や写真を使って、壁面を有効に飾りつける方法をいくつかご紹介いたします。壁紙を変えたり、新しい色で塗装したりするには、まとまった時間や費用が必要ですが、絵や写真であれば、額装をして飾るだけで、空間のイメージを変えることが可能です。

絵や写真は、飾る部屋によって色やデザインを考える必要があります。

例えば赤やオレンジ色は脳を活性化させる色で、血流が増し新陳代謝が盛んになり食欲が増します。ですから、ダイニングルームに赤やオレンジ色の絵を飾ることは効果的だといえます。逆に、青や紫は食欲を減退させる色ですので、気をつけなければなりません。

ピンク色は、女性ホルモンの分泌を盛んにしてアンチエイジングの効果がある色ですので、女性の部屋にピンク色の花の写真などを飾ることは効果的でしょう。またピンクには良縁に恵まれるなどの効果もあります。

次に絵を飾る場合のレイアウトについてです。壁面に対してバランスの良い大きさや、個数を想定してください。壁に対してあまりにも小さすぎる絵や、ごちゃごちゃと多すぎる絵などは、逆効果となってしまう。窓や家具などの位置も考慮して、基本はシンメトリー（左右対称）に、場合によっては、小さい額装をいくつか規則的に並べたりすることで、視覚的に動きが出て、空間に良い氣が流れます。クロスのサンプルや、着物のほぎれなどをうまく額装して飾ったりすると、オリジナリティ溢れる壁面にすることが可能です。

【写真1.3】玄関周りにはなるべく明るい絵や行きたい所の写真を飾りましょう。毎日必ず目にするものなので、その絵や写真のイメージが無意識に脳にインプットされ、潜在的な意識に影響を及ぼします。【写真2】ダイニングには、赤やオレンジなどの見ると明るい気分になる色で構成されたものを飾ると良いでしょう。食欲増進等の効果が得られます。【写真4】シンメトリーにレイアウトされた壁面は、見るたび脳をスッキリさせる効果があります。窓とのバランスを考えて配置すると良いでしょう。【写真5】水を扱う洗面所には、暖かいイメージの花の写真などが合います。【写真6】家具などにアクセントカラーが入っている場合は、部屋の色見合った絵画を飾り、あまり色がごちゃごちゃしないように気をつけると良いでしょう。【写真7】店舗やオフィスのエントランスにも絵や写真を飾ることで、空間の質を高めることが可能です。